

自治体会議特別セミナー

【日時】令和7年10月8日 13時30分～16時

【場所】平坂勤労会館

【講師】高沖 秀宣氏

所見・西尾市政への反映に向けた課題

新人議員向けのセミナーではあったが、私自身にとっても多くの学びがあった。特に「議員の資質向上」に関する講義では、議会の存在意義や二元代表制の本質といった、議員としての基本を改めて教えていただいた。

講義の中で示された主なポイントは次のとおりである。

- ・ 市長と議会は対等の立場であり、「願います」という関係ではないこと。
- ・ 議会改革とは、議会がよりよく機能するために行うものであること。
- ・ 定数削減は「身を切る改革」ではなく、議会そのものを削る行為であること。
- ・ 定数を減らしても議会の質が向上するわけではないこと。
- ・ 議員は、市民に働きを認めてもらい、その対価を正当に受け取ればよいこと。
- ・ 多くの議会が政策形成機能の強化に消極的である現状。
- ・ 専決処分の乱用を防ぐためにも、通年議会の導入を検討すべきこと。

これらについては、これまでも「なんとなく理解しているつもり」ではあったが、今回あらためて丁寧な説明を受け、自分の理解が不十分であったことを痛感した。議員としての基本を正しく知ることの重要性を、改めて強く感じた講義であった。

今回の自治体会議特別セミナーに参加し、議員としての役割を学ぶ貴重な機会となった。特に、議会の存在意義や二元代表制の本質についての講義は、制度として知っているだけでは不十分であり、その意味を実践の中でどう体現するかが問われていると感じた。

議会は単なる意思決定機関ではなく、市民の多様な声を受け止め、政策として形にしていく責任を担っている。その中で議員は、市長との関係においても緊張感ある対等な立場を保ちつつ、市民の負託に応える存在でなければならないと再認識した。

また、議会改革や定数の議論についても、やみくもに定数を削減する議論ばかりではなく、「議会が本来果たすべき機能とは何か」「議員の資質向上」という本質に立ち返る必要性を強く感じた。

今回の学びを通じて、議員としての基本を理解し、日々の活動の中でどう実践していくかが重要であると痛感した。今後は、より一層市民の声に向き合い、議会の機能を高める一員として責任を果たしていきたい。

収支報告

| 項目 | 支出金額 | 備考 |
|-------|----------|----------------|
| 調査研究費 | 20,000 円 | 旅費 円 手土産代 円 |
| 資料作成費 | 円 | |
| 資料購入費 | 円 | |
| 事務費 | 円 | |
| 計 | 20,000 円 | |